

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆12月の景気動向指数、2ヶ月ぶり上昇 輸出が好調

・内閣府が発表した2024年12月の景気動向指数(CI、2020年=100)は足元の経済状況を示す一致指数が前月に比べて1.4ポイント上昇し116.8に。2カ月ぶりに上昇。基調判断は「下げ止まりを示している」に据え置いた。一致指数を構成する10項目のうち、輸出数量指数や投資財出荷指数など8項目がプラス要因となった。

#### ◆個人消費、食料高が重荷 エンゲル係数43年ぶり高水準

・食料価格の高騰が個人消費の重荷に。総務省の家計調査によると、2024年の消費支出は実質で前年比1.1%減少。消費支出に占める食費の割合を示す「エンゲル係数」は28.3%と1981年以来43年ぶりの高水準。24年12月単体は実質2.7%増となり、消費に回復傾向がみられる。

#### ◆危険運転要件見直し、法制審諮問 速度や酒量に数値基準

・法務省は危険運転致死傷罪の適用要件の見直しなどを法制審議会(法相の諮問機関)に諮問する。危険運転にあたる車の速度や体内のアルコール量について数値基準を設けることが主な議題。処罰対象に新たにドリフト走行を追加することも論点となる。同省は法制審の答申を踏まえ、自動車運転処罰法の改正を目指す。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆マンション、改修・解体の合意要件緩和 賛成5分の4以上

・政府はマンションの改修や取り壊しなどに必要となる住民の同意のハードルを下げる。現在は区分所有者全員の賛成が求められる柱や梁(はり)といった主要な構造部分を残して全体を改修する1棟丸ごとのリノベーションや解体を、5分の4以上の賛同で可能にする。老朽物件は年々増加しており、要件緩和で再生を後押しする。

#### ◆耐震改修工事 戸建・木造とも2%どまり—住宅・土地統計調査

・総務省は2023年に実施した「住宅・土地統計調査」結果のうち、住宅の構造に関する集計結果を公表。2019年以降に耐震改修工事を行った持ち家の割合は、全体の1.9%に当たる63万7000戸。耐震工事を含めた増改築・改修工事の実施割合は「台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事」が16.1%で最も多かった。

#### ◆新築戸建て価格、首都圏で最高値 供給減って再び上昇

・不動産調査会社の東京カンテイがまとめた1月の新築小規模戸建て住宅の平均希望売り出し価格は、首都圏が前月比3.9%高い5572万円と2014年4月の調査開始以来の最高値を更新した。24年夏以降は高値警戒で需要が弱含み平均価格が下がる場面もあったが、ここに来て再び上昇基調に転じた。

### 《 注目商品 》

#### ■岩崎電気、屋外用スポットライト「unis Spotlight」

・景観街路照明のフラッグシップモデル「unis(ユニス)」シリーズに「スポットライト」12形式を新ラインアップ。「Lighting Orchestration」をコンセプトに、オーケストラの楽器が美しいハーモニーを奏でよう多彩な光で調和された空間創出、人の営みや環境により添う屋外照明。



#### ■アイリスオーヤマ、「電動工具 10.8Vマルチギア」

・材料の切断や家具のネジ締めなど用途に合わせて各種ヘッドを付け替えることで、初心者でも手軽に使える「電動工具 10.8Vマルチギア」を発売。共通の本体に各種ヘッドを付け替えることで穴あけ、ネジ締め、研磨・面取り、直線・傾斜・曲線カットの作業可能。



#### ■リンナイの既築集合住宅用エコジョーズ、ドレン排水切替ユニットを小型化

・「エコジョーズ RUF-TE」シリーズをモデルチェンジして2月20日に発売。運転時に発生したドレン水を既設のおいだし配管を通じて浴槽エプロン内に設置する別売の専用部材「ドレン排水切替ユニット(三方弁)」から浴室に排水、エコジョーズへの切り替えが可能。

